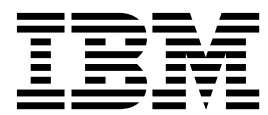


**IBM PowerSC
Standard Edition**

バージョン 1.1.6

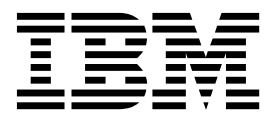
リリース・ノート



**IBM PowerSC
Standard Edition**

バージョン 1.1.6

リリース・ノート



— お願い —

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 5 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM PowerSC Standard Edition のバージョン 1.1.6、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM PowerSC
Standard Edition
Version 1.1.6
Release Notes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2017.

目次

本書について	v	商標	7
PowerSC Standard Edition リリース・ノ ート・バージョン 1.1.6	1		
特記事項	5		
プライバシー・ポリシーに関する考慮事項	7		

本書について

本書は、ファイル、システム、およびネットワーク・セキュリティに関する詳細な情報をシステム管理者に提供します。

強調表示

本書では、以下の強調表示規則を使用します。

太字	コマンド、サブルーチン、キーワード、ファイル、構造体、ディレクトリー、およびシステムによって名前が事前に定義されているその他の項目を示します。また、ユーザーが選択するボタン、ラベル、およびアイコンなどのグラフィカル・オブジェクトも示します。
イタリック	実際の名前または値をユーザーが指定する必要があるパラメーターを示します。
モノスペース	特定のデータ値の例、画面に表示されるものと同様のテキスト例、プログラマーが作成するものと同様のプログラム・コード部分の例、システムからのメッセージ、実際に入力する必要がある情報などを示します。

AIX® でのケース・センシティブ

AIX オペレーティング・システムでは、すべてケース・センシティブとなっています。これは、英大文字と小文字を区別することです。例えば、**ls** コマンドを使用するとファイルをリスト表示できます。LS と入力すると、システムはそのコマンドが「not found (見つからない)」と応答します。同様に、FILEA、FiLea、および filea は、同じディレクトリーにある場合でも、3 つの異なるファイル名です。予期しない処理が実行されないように、常に正しい大/小文字を使用するようにしてください。

ISO 9000

この製品の開発と製造には、ISO 9000 登録済み高品質システムが使用されました。

PowerSC Standard Edition リリース・ノート・バージョン 1.1.6

このリリース・ノートには、資料が完成した後に確認された PowerSC™ Standard Edition バージョンに対する変更についての情報が記載されています。

PowerSC のインストール前に読む情報

最新版のリリース・ノートを表示するには、IBM® Knowledge Center でオンライン・リリース・ノートを参照してください。

PowerSC Standard Edition はライセンス・プログラムであり、AIX オペレーティング・システムには含まれていません。

注: このソフトウェアを使用する前に、Fix Central Web サイトにアクセスし、セキュリティ脆弱性とその他の重要な問題を対象とした、使用可能な最新フィックスをインストールしてください。

インストール、移行、アップグレード、および構成の情報

インストール

PowerSC Standard Edition のインストールについては、『Installing PowerSC Standard Edition』を参照してください。

要件

PowerSC Standard Edition 用にサポートされているハードウェアおよび AIX オペレーティング・システムのバージョンについては、『PowerSC Standard Edition concepts』を参照してください。

PowerSC GUI サーバーを V1.1.5 から V1.1.6 にアップグレード

ユーザーは、V1.1.5 から V1.1.6 にアップグレードした PowerSC GUI サーバーにアクセスする場合、ブラウザー・キャッシュをクリアする必要があります。

PowerSC GUI V1.1.6 プロファイルには、**PowerSC V1.1.5** が動作しているエンドポイントとの互換性がない

PowerSC GUI サーバーをアップグレードすると、V1.1.6 プロファイルには、PowerSC V1.1.5 (またはそれ以前のバージョン) が動作しているエンドポイントとの互換性がなくなります。

PowerSC GUI V1.1.6 サーバーから、PowerSC V1.1.5 (またはそれ以前のバージョン) が動作しているエンドポイントに、V1.1.6 プロファイルをコピーしないでください。

PowerSC GUI サーバーを V1.1.6 から V1.1.5 にダウングレード

PowerSC GUI サーバーを V1.1.6 から V1.1.5 にダウングレードしなければならない場合があります。PowerSC サーバーを V1.1.6 から V1.1.5 にダウングレードするには、以下の手順に従ってください

- 現在の powerscStd.uiServer V1.1.6 ファイルセットをアンインストールします。
- ディレクトリー /opt/powerscStd/uiServer および /etc/security/powerscStd/uiServer を削除します。
- powerdcStd.uiServer V1.1.5 をインストールして、エンドポイントを再構成します。

セキュリティおよびコンプライアンス

古くなったセキュリティ・プロファイルとコンプライアンス・プロファイル

古くなったセキュリティ・プロファイルとコンプライアンス・プロファイル

(DoD.xml、DoD_to_AIXDefault.xml、PCI.xml、および PCI_to_AIXDefault.xml) は、今後のリリースの PowerSC Standard Edition から削除されます。

PowerSC V1.1.6 でリリースされた Payment Card Industry (PCIv3) 標準

PowerSC V1.1.6 でリリースされた Payment Card Industry (PCIv3) 標準のバージョンを適用するには、APAR IV73419 を AIX オペレーティング・システムにインストールする必要があります。

トラステッド・ネットワーク接続 (TNC)

トラステッド・ネットワーク接続 (TNC) データ処理

TNC サーバーがパッケージを TNC パッチ管理サーバーから受信しているときに、処理に遅延が生じる場合があります。

Trusted Network Connect を実行するための追加のファイルセット要件

Trusted Network Connect を実行するには、IBM PowerSC Standard Edition DVD に含まれる powerscStd.tnc_commands ファイルセットをインストールする必要があります。**installp** コマンドを使用して、AIX システムにこのファイルセットをインストールしてください。このファイルセットでは、**psconf** コマンドおよび **pmconf** コマンドの機能が提供されます。

注: Trusted Network Connect の IP リファラー機能を使用する場合は、ご使用の VIOS システムに powerscStd.tnc_commands ファイルセットもインストールする必要があります。

PowerSC トラステッド・ネットワーク接続パッチ管理 (TNCPM) 暫定修正 (ifix) のサポート

新しい TNCPM フィーチャー (ifix のキャッシュ) は、TNCPM サーバー修正リポジトリに最小 3GB を必要とします。ご使用の環境と使用可能な ifix のアクティビティーに応じて、この値は変動する場合があります。そのため、リポジトリをモニターし、必要に応じて値を調整するようお勧めします。

pmconf コマンドを使用して、トラステッド・ネットワーク接続パッチ管理 (TNCPM) サーバー・ポートと、TNC サーバー・ホスト名およびポートを変更

トラステッド・ネットワーク接続パッチ管理 (TNCPM) サーバー・ポートと、TNC サーバー・ホスト名およびポートを変更するための **pmconf** コマンドの構文は以下のとおりです。

```
pmconf chtncpm pmport=<port> # Change the TNCPM server port
pmconf chtncpm tncserver=<hostname>:<port> # Change TNC server host name and port
```

PowerSC GUI

PowerSC GUI サーバー・ディレクトリーのバックアップ

PowerSC GUI サーバーでは、インストール・パスのサイト固有のサブディレクトリーの下に、いくつかのサイト固有のカスタマイズが保管されます。例:

- ユーザーが作成したカスタム・プロファイルおよびカスタム・グループは、ディレクトリー /opt/powersc/uiServer/knowledge/site/powerscui の下に保管されます。

/opt/powersc/uiServer/knowledge/site/powerscui/ ディレクトリーをバックアップしておく必要があります。

次の例では、コマンドを `/opt/powersc/uiServer/knowledge/site/powerscui/` ディレクトリーで実行します。

ディレクトリーをバックアップするには、次のコマンドを実行してください。

```
tar -cvf siteStuff.tar /opt/powersc/uiServer/knowledge/site/powerscui/
```

バックアップ・ファイルをリストアするには、次のコマンドを実行してください。

```
tar -xvf siteStuff.tar
```

PowerSC GUI エージェント・ポートの変更

デフォルトで、PowerSC GUI エージェントはポート 11125 で `listen` します。必要であれば、`/opt/powersc/uiAgent/bin/setLocalPort.sh` スクリプトを使用して、異なるポートを選択することができます。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Director of Licensing

IBM Corporation

North Castle Drive, MD-NC119

Armonk, NY 10504-1785

US

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物には、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年).

このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。

© Copyright IBM Corp. _年を入れる_.

プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

この「ソフトウェア・オファリング」は、Cookie もしくはその他のテクノロジーを使用して個人情報を収集することはありません。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie などの各種テクノロジーの使用について詳しくは、『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメントのハイライト』(<http://www.ibm.com/privacy/jp/ja/>)、『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』というタイトルのセクション、および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』(<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

商標

IBM、IBM ロゴ、および [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。



Printed in Japan